

第65回 藤田幸久政経フォーラム

北朝鮮・沖縄

緊迫する国際情勢と日本の安全保障

小川和久
(静岡県立大学特任教授)

2018年3月28日0800~0930
都市センターホテル6F (601会議室)

北朝鮮 2018年3月

◎圧倒する米国、それを利用して着地を狙う北朝鮮

【米国側】

ポンペオ、ボルトンの就任 → より一層圧力を高めて着地する態勢
ティラーソン、マクマスター、ユンの辞任
対話の方向に舵を切った北朝鮮に不可逆的な対応を求める

【北朝鮮側】

崔善姫を外務次官に昇格させた
李容浩(リ・ヨンホ)をスウェーデンに派遣 米朝首脳会談への協力求める
チェ・ガンイル副局長がフィンランドで米国・韓国側と協議



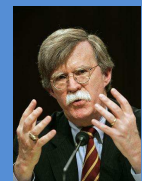
ティラーソン国務長官更迭(3月13日)



ポンペオCIA長官



マクマスター国家安全保障担当大統領補佐官更迭(3月23日)



ボルトン元国連大使

崔善姫外務省北米局長、外務次官に昇格(金正日誕生日の20180216)



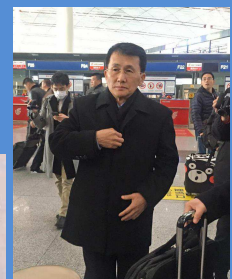
北朝鮮: 対話

米国: 対話派が後退→圧力強化の効果

ジョセフ・ユン国務省北朝鮮特別代表辞任
(3月2日付)



李容浩(リ・ヨンホ)外相、ロベーン首相、バルストロム外相と会談(3月16日)



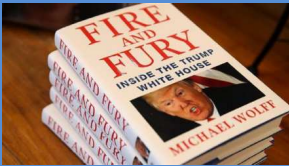
北米局のチェ・ガンイル副局長、ヘルシンキに到着(3月18日)
キャサリン・スティープンス元駐韓大使、韓国関係者と会談(1.5トラック)

トランプ政権の安全保障チーム
北朝鮮が対話しているのはマティス・ファミリー

ケリー大統領首席補佐官 元海兵隊大将



トランプ大統領の娘のイバンカ補佐官(右)と娘婿のクシュナー上級顧問

マイケル・ウォルフ著
『炎と怒り トランプのホワイトハウスの内幕』



更迭されたパノ首席戦略官・上級顧問

マティス国防長官 元海兵隊大将 中央軍司令官



イラク戦争当時 マティス米海兵隊海兵師団長(中央)、ケリー副師団長(向かって左)、ダンフォード連隊長(現統合参謀本部議長、右)




マクマスター国家安全保障担当大統領補佐官(陸軍中將)



フリン元補佐官の訴追などでトランプ弾劾となればペンスが昇格
ペンスは共和党主流派
同じ共和党主流派の安全保障チームは基本的に変わらない





北朝鮮 2018年1～2月

2017年暮

人工衛星打ち上げ準備の動き 銀河3号

人工衛星「光明星3号2号機」 テポドン2型の改良型

1月1日に発射？

意表を衝くような「新年の辞」



写真は2012年12月12日

元日の「新年の辞」

「米本土全域がわれわれの核攻撃の射程圏内にあり、核のボタンが私の執務室の机上に常に置かれている」

全体から読み取れる最大の特徴はむしろ韓国への対話攻勢

「肖像徽章」(金日成・金正日バッジ)を付けないスーツ姿は昨年と同様
今年はいまだに見せたことのない明るいグレーのスーツ

「民族の地位を誇示する好ましい契機になる」
「代表団の派遣を含めて必要な措置を講じる用意」
「成功裏に開催されることを心から願っています」

韓国の文在寅政権に対して
米国の「追従勢力」(3回)であることをやめる
強調される「わが民族同士」(3回)
米韓同盟を弱体化させようという意図



米国との衝突を避けたいという思惑も

「平和」を10回も連呼

「責任ある核強国として、侵略的な敵対勢力がわが国家の自主権と利益を侵さない限り核兵器を使用しない」と強調

金正日時代に掲げられた「先軍」はついに言及なし

「新年の辞」は、その年に実現すべき目標を掲げる施政方針演説として重視

「まさに1年前、私はこの席で党と政府を代表して、大陸間弾道ロケット(ICBM)試験の準備が最終段階で推進されているということを公表し、この1年間、その履行のための数次にわたる試験発射を安全かつ透明性を持って行い確固たる成功を全世界に証明しました」

南北高官級会談(9日) 板門店(パンムンジヨム)の韓国側施設「平和の家」

北朝鮮:祖国平和統一委員会の李善権(リソングォン)委員長(左)
韓国:趙明均(チョミョンギュン)統一相



【共同報道文】

北朝鮮は高官級や民族オリンピック委員会の代表団、選手団、応援団、芸術団、観戦団、テコンドー団、記者団などを派遣
韓国は必要な便宜を図る

軍事的な緊張緩和に向けた軍事当局者会談を開くことで合意

米太平洋空軍、グアムのアンダーセン空軍基地にB2戦略爆撃機3機を一時配備
核兵器搭載可能(10日)



朝鮮労働党機関紙・労働新聞(11日)
韓国に対し、米国との合同軍事演習の中止を重ねて要求

米韓は平昌冬季五輪、パラリンピック期間中に合同演習を実施しない方針
北朝鮮はあくまで全面的中止を求める

トランプ米政権

北朝鮮の狙いが経済制裁の緩和や米韓の分断にあると警戒
核放棄に向けた「最大限の圧力」、米韓合同軍事演習は五輪の終了後に実施

1月15日午後7時、南北実務接触が行われた板門店北朝鮮側の施設「統一閣」
会議終了直前、北朝鮮首席代表の権ヒョク奉(クワン・ヒョクボン)文化省芸術公演運
営局長が右隣の女性に敬称を使うなど、礼儀正しく何かを尋ねた
玄松月(ヒョンソンウォル)・牡丹峰(モランボン)管弦楽団団長



公演場所の現地調査のため1月21日、軍事境界線を越えて陸路で韓国入り
今度の肩書きは、三池淵(サムジヨン)管弦楽団団長



金与正朝鮮労働党中央委員会副部長
金正恩委員長の特使として親書を手渡す
(2月10日)

平昌五輪開会式(2月9日)



イバンカ・文在寅会談



哨戒艦「天安」沈没 2010年3月16日 46人死亡(金英哲氏が首謀者とされる)

五輪閉会式で金英哲副委員長と「同席」



3月5～6日
韓国特使団と会談



鄭義溶(チョン・ウエヨン) 国家安保室長のマスコミ発表文(3月6日)

- 1.4月末に板門店「平和の家」で第3回南北首脳会談を開催する
- 2.軍事的な緊張緩和と緊密な協議のため、首脳間ホットラインを設置する
- 3.北側は朝鮮半島の非核化の意思を明らかにし、北朝鮮に対する軍事的脅威が解消され、北朝鮮の体制の安全が保証されれば、核を保有する理由がないという点を明確にした
- 4.北側は非核化問題の協議及び米朝関係の正常化のため、米国と虚心坦懐に対話をする用意を表明した
- 5.対話が持続する間、北側は追加の核実験及び弾道ミサイル試験発射などの戦略挑発を再開することはないと明確にした
- 6.北側は核兵器はもちろん、在来型兵器を南側に向けて使用しないことを確約した
- 7.北側は、平昌オリンピックによって醸成された南北間の和解と協力の良い雰囲気を持続させるため、南側のテコンドー師範団と芸術団の平壤訪問を招請した



トランプ大統領の反応(3月6日)

「非常に前向きだ」

「(事態が改善すれば)世界や北朝鮮、朝鮮半島にとって素晴らしいことだ」

「何がこれから起きるのか見守っていこう」

「世界中が注目して待っている！ ぬか喜びに終わるかもしれないが、どちらに転がっても、米国はしっかり対応する用意がある！」

3月8日(米国時間)

鄭義溶(ジョン・ウエヨン) 国家安保室長の報告を受けて、5月までに首脳会談

「直接会い、話をすれば大きな成果を出すことができるだろう」(金正恩)

「よし、会おう」(トランプ)

2カ月半の沈黙(北朝鮮は怯えた)

9月18日 マティス米国防長官

北朝鮮への軍事的選択肢に関し、韓国の首都ソウルを北朝鮮の報復で「重大な危険」に陥らせることのない軍事的手段があると記者団に明かす

北朝鮮が南北軍事境界線付近に展開した多数の長距離砲などで約50キロ程度の距離にあるソウルへの攻撃で報復する恐れから、先制攻撃は難しいとされてきた

大前提は、北朝鮮の指揮・通信システムを無力化すること

サイバー攻撃(スタックスネットのような)、EMP(電磁パルス)攻撃

9月23日 B-1B 21世紀に入り最も北朝鮮に接近
嘉手納基地のF-15Cが護衛、KC-135が給油




CHAMP(対電子機器高出カマイクロ波発達型ミサイル・プロジェクト)



AGM-158 JASSM
(統合空対地スタンドオフミサイル)



「ソウルに被害の出ないやり方がある」
(マティス国防長官、2017年9月18日)

狙った建物の電子機器を無力化するCHAMPのイメージ



CHAMP搭載ミサイルの攻撃で停止したコンピュータ

・崔善姫のロシア派遣、対米接触不調に(今年10回以上、接触、会談を提案)

9月25日 崔善姫(チェ・ソンヒ) 北米局長、ウラジオストク経由でモスクワを訪問
ロシア外務省で北朝鮮の核問題を担当するフルミストロフ大使と協議

10月21日までモスクワで核不拡散に関する国際会議 シャーマン元国務次官と接触
オスロでの米朝接触をキャンセル

北朝鮮 「核兵器に関する交渉はしないが臨むなら議論は歓迎」

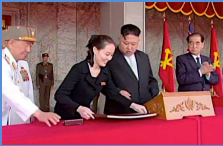




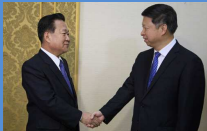
・10月7日、朝鮮労働党中央委員会総会開催

外交・経済中心に幹部人事、経済建設をアピール

実妹の金与正を政治局員候補に

・金正恩の動静(耕作地、りんご園、養豚場、トラクター、国産車)



・金正恩、中国特使と会見せず(呑めない要求?)

- ・米国、テロ支援国家に再指定(米国は先制的自衛権行使が可能に)
- テロ支援国家、大量破壊兵器使用(vx)、テロ実行(拉致)



- ・中国は北朝鮮に対して4月、8月に警告
- ・米国の攻撃を誘発しない範囲で強硬姿勢(示さなければ体制基盤が揺らぐ)

火星15(KN-22)発射(日本時間11月29日午前3時18分) 平壤北方・平城
距離950キロ、高度4475キロ(ロフテッド軌道) 飛行時間53分

青森県西方250キロのEEZに着弾

通常軌道なら13000キロ(米国東海岸が射程圏内)



火星15と9軸18輪の移動式発射装置(TEL)



火星15の諸元

「米本土全域を打撃できる超大型重量級核弾頭の装着が可能な大陸間弾道ロケット」

直径約2.4メートル、全長約22.5メートル
火星14(直径1.7-1.9メートル、全長19.5-19.8メートル)

第1段だけで40トンの燃料を搭載

火星15の第1段エンジンは80トンの推力
構造は旧ソ連製RD-250エンジン(推力88.65トン)と同じ
RD-250を設計したウクライナのユーージュエ設計局では、北朝鮮のスパイ2人が関連文書を撮影して2011年に逮捕され、12年に有罪判決(禁錮8年)

9軸(18輪)自走発射台車(TELではない)

火星15の先端部の内部映像によると、再突入体1基が搭載されているが、その数倍の容積が余っており、デコイやMIRVを搭載する余裕がある

火星15の弱点(脆弱性)

- ・大気圏再突入失敗 再突入技術を取得できていない
 - ・移動式発射装置(TEL)から下ろして直立させている
 - ・巡回区域に発射台を設置
 - ・発射台を破壊されると発射できない
 - ・実戦配備されているミサイル
米国防総省『弾道・巡航ミサイルの脅威』(2017年6月26日)
- スカッドB/C100発未満、ノドン100発未満、火星10(ムスダン)IRBMは50発未満
北極星2号は未配備、スカッドER、火星は不明、北極星1号SLBMは「1発or未配備」
- ・ロフテッド軌道へ試射している理由の一つ、ミサイル追跡艦を外洋へ派遣することなく、遠隔測定(テレメトリ)用の電波を北朝鮮国内で確実に受信するため



中国の遠望型衛星追跡艦(排水量17000トン)

米韓合同軍事演習(12月4～8日)

ステルス機など230機を投入



国連のフェルトマン事務次長、李容浩外相と会談(7日) 15時間の会談

「交渉の扉、少し開いた」

戦争防止のために国連を通じた意思疎通で合意

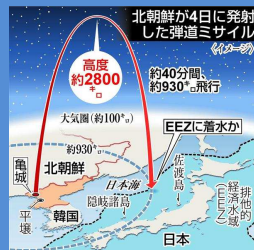


2017年夏のチキン・ゲーム(0704~0915)

7月4日「火星14」(KN-14)発射



7月4日 日本海に落下



7月28日「火星14」発射



8月1日「北朝鮮(の核・ミサイル開発)を阻止するために戦争が起きるとすれば、現地(朝鮮半島)で起きる。何千人死んだとしても向こうで死ぬわけ、こちら(米国)で死者は出ない」



8月9日

朝鮮人民軍戦略軍司令官

米領グアム周辺への中距離弾道ミサイル「火星12」の「包囲射撃」計画について、4発を同時にグアム沖30~40キロの海上に撃ち込む計画案を検討しており、「8月中旬までに最終完成させる」と表明

ミサイル発射計画

射程3356・7キロを1065秒間飛行後、グアム周辺30~40キロに着弾

島根県、広島県、愛媛県、高知県の上空を通過

この北朝鮮の強硬姿勢は一貫「米国の圧力に屈したのではなく、北朝鮮の強い姿勢によって米国が折り合わせるを得なくなった結果としての対話への動き」を演出する必要

B-1戦略爆撃機の拠点 朝鮮半島周辺の飛行をやめさせたい



グアム島アンダーセン空軍基地



8月14日 金正恩委員長

「朝鮮半島での軍事的衝突を防ぐためには、アメリカが先に正しい選択をして行動で示すべきだ」

「悲惨な運命のつらい時間過ごしているアメリカの行動をもう少し見守る」

「北朝鮮主導による話し合いモード」に舵を切っていることは明らか

北朝鮮がハンドルを切って正面衝突を避けたのは4月13日以来2回目



北朝鮮の強硬姿勢に米国は譲歩の動き

B-1を飛行させず

米韓合同軍事演習を前倒しせず

軍事演習の規模も前年より縮小

空母打撃群を展開せず

北朝鮮も譲歩の姿勢を北太平洋へのミサイル発射で示す

8月29日 中距離弾道ミサイル「火星12」を発射



9月3日 水爆実験

M6.1(米国はM6.3)の人工地震を感知

第5回核実験(2016年9月9日)はM5.3、10キロトン規模

今回(第6回)は Jホプキンス大学250キロトン IIS 300~500キロトン

「グアムを外して発射したのにB-1やF35を飛ばした。だから対抗措置」



8月31日 米国はミサイル発射を「譲歩」とみなさず、B-1、F-35などを投入



北朝鮮は「ICBM用」と主張

水爆(左)を視察する金正恩委員長

ミニットマンⅢ

重量 200~270kg

破壊力 300~475キロトン



手前は水爆を保護する再突入体



9月12日 安保理制裁決議

- ・9回目の制裁決議
- ・全会一致
- ・8日間というスピード
- ・国連加盟国の北朝鮮への石油輸出に上限(30%, 製品の55%)
- ・石油が対象は初
- ・金正恩委員長長の在外資産凍結と渡航禁止は取り下げ
- ・繊維製品の輸出を禁止(年間830億円)
- ・労働者派遣を規制(契約更新不可)年間550億円
- ・中ロも労働者を帰国させる



9月15日 中距離弾道ミサイル「火星12」を発射



朝鮮中央通信(9月16日)

「実戦的な行動を確定する目的で行われた」次弾発射を2時間短縮

「『火星12』の戦闘性能と信頼性が徹底的に検証され、戦力化が実現した」(金正恩氏)

金正恩は狂気か、正気か

米中央情報局(CIA)の高官コンスク・リー氏
(10月4日、ジョージ・ワシントン大学での講演)

「金正恩氏の行動は実権の存続を図る長期的な目標に基づいた理性的な行動」

南カリフォルニア大学デビッド・カン(David C. Kang)教授の論文

『平壤の狼: 金正恩がCEOに似ているわけ』



張成沢処刑(2013年12月12日)
金正男暗殺(2017年2月13日)



モデルはインド、アメリカ、中国



インディラ・ガンジー



アイゼンハワー

鄧小平



シラキュース大学(ニューヨーク州)



自分の国は自分で守るということ

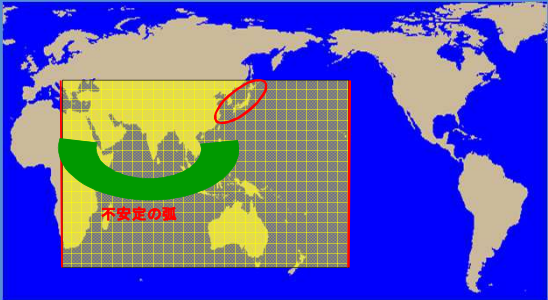
日本の選択肢

- ・ 日米同盟の徹底活用
- ・ 武装中立



防衛大学校の2人の教授の試算

米国の軍事戦略における日本列島の位置づけ



日本列島が支えている米軍の行動範囲

東経17度(喜望峰) ～ 西経160度(ハワイ)

米軍駐留経費

経費負担額と経費全体に占める割合

日 本	44億1134万ドル(5382億円)	74. 5%
ドイツ	15億6392万ドル(1908億円)	32. 6%
韓 国	8億4311万ドル(1029億円)	40. 0%
イタリア	3億6655万ドル(447億円)	41. 0%
イギリス	2億3846万ドル(291億円)	27. 1%

(出典：2004 STATISTICAL COMPENDIUM on ALLIED CONTRIBUTIONS TO THE COMMON DEFFENSE 【米国国防総省】)

抑止力としての沖縄の海兵隊地上部隊



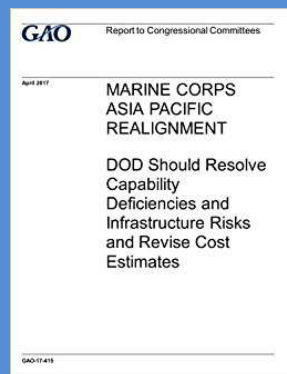
(3) 辺野古の建設費と工期を疑う

- 2014年3月13日、参議院外交防衛委員会における藤田幸久議員（民主党）の質問。
- 小野寺五典・防衛大臣は、滑走路や管制塔その他の建設費や環境整備費などを含めた総工費が少なくとも3500億円以上と見込まれることを、初めて明らかに。
- 10年ほどの間に日本で開港した空港は7箇所。その総工費は、空港島470ヘクタールを埋め立て、3500メートル滑走路を持つ国際空港の中部国際空港セントレアだけが6400億円以上と別格だが、それ以外の空港は、最大でも新北九州空港の1024億円。あとは200～500億円程度。

【資料】最近10年で開港した空港の総工費と工期（供用開始順）

- 総工費は、空港本体の工事費・用地費などを含んだ建設費を指す
- 名称.....総工費／着工年月／滑走路供用年月／工期
- 中部国際空港.....6431億円／2000年8月／2005年2月／4年6か月
- 神戸空港.....530億円／1999年9月／2006年2月／6年5か月
- 新北九州空港.....1024億円／1994年10月／2006年3月／11年5か月
- 新種子島空港.....240億円／1992年11月／2006年3月／13年4か月
- 静岡空港.....490億円／1998年11月／2009年6月／10年7か月
- 茨城空港（百里飛行場）.....220億円／2005年7月／2010年3月／4年8か月
- 新石垣空港.....451億円／2006年10月／2013年3月／6年5か月
- ※出典
- 国土交通省サイト「航空関係公共事業に係るこれまでの評価結果」
(http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000249.html)

◎米国連邦議会政府監査院（GAO）報告書（2017年4月）



◎米海兵隊のシーベースিং（不要な敵前上陸はしない）



◎沖縄の地理的重要性

